

## 会長挨拶

東京八王子プロバスクラブ  
第15代会長 杉山 友一

私たち東京八王子プロバスクラブは、この7月よりクラブ創立15周年目の期に入りました。私たちはこの機会に、15年の積み重ねを「振り返り」、「お祝いし」、「広報し」、記念としての奉仕活動を展開いたします。その内容は、10月17日、八王子市民会館を会場として、市内の小中学生とその保護者の皆さんにお集まりを頂き、21世紀の青少年に送るメッセージ、＜講演と視覚障がい者音楽家によるコンサート＞「宇宙への未来の夢と努力と」を開催します。また同日夕刻からは内外からお客様をお招きして、記念式典、懇親会を開催するほか、15周年記念誌を発刊いたします。更に、高齢社会の時代のニーズに応えて、新たに誕生する東京日野プロバスクラブの創立を支援いたします。

私は、この7月から一年間クラブの会長職をお預かり致しますが、本年度のキャッチコピーは＜**POSITIVE AGING**＞です。高齢期を、**POSITIVE**、前向きに積極的に過ごしましょうというお声がけです。年間のクラブ経営のコンセプトは、「遊び心・学ぶ心・奉仕の心でクラブは今年も進化します」と掲げました。一般市民の参加と協力を得て例年2月から5月にかけて開催する「生涯学習サロン」は年毎に好評で、本年度は15回目の開催となりますが、私たちはこの15年の節目として、伝統を踏まえながらも、リストラクチャリング指向で、前進、進化の兆しが見える年として次年度へ襷をつなぎたいと考えています。5部門の各委員長さんには「より楽しそうな・より面白そうな・より為になりそうな」次なるステージの創造に向けて力をお貸しく下さいとお願いしました。幸い、運営の責任を負う理事会のメンバー全員が、先頭に立って「会員の為になる・クラブの為になる・地域社会の為になる」ことに新たな情熱をたぎらせています。私たちは、会員たちの豊かな知識と経験を、さあ、若者たちに今伝えよう、とのビジョンを掲げています。いつまでもきちっと自律し、自立した高齢者として、社会の中での存在感を確認していきたいと考えています。どうか皆様におかれましては、特段のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。